



ブラックジャック 【基本】ガイドブック

【目次】

■ ブラックジャックとは

■ 基本的なルール、遊び方

■ ブラックジャックの基本用語

■ 攻略法

■ 実際にブラックジャックで遊んでみよう

■ブラックジャックとは

ブラックジャックとは、トランプを使ったゲームの一種で、簡単に説明すると、ディーラーとプレイヤーとが2枚ずつのカードが配られるところからスタートし、

カードの合計が21以下（21が一番強い）で、
21に近い方が勝ちという非常にシンプルで簡単なゲームです。

ブラックジャックの歴史は、16世紀後半、ヨーロッパの家庭用ゲームから発展したゲームと言われています。

スペードのAまたはJが出ると特別ボーナスがもらえるルールがあったことから、

「**ブラックジャック**」と呼ぶようになり、ゲーム名にもなりました。

その後「**ブラックジャック**」の定義は「スペードのAとJ」からスペード限らず、

「A と 10 J,Q,K」に拡大されました。

ブラックジャックは、ヨーロッパから生まれたゲームになりますが、19世紀後半にはアメリカでも楽しめられるようになり、

1960年代にブラックジャック必勝法が考案され、広められたされたことにより、爆発的な人気を集めました。

単純明快なルールと駆け引きの奥深さから、世界中で高い人気を持つゲームに発展しました。

世界的にポピュラーなゲームなので、やったことがある！！知ってる！！という人も多く、

カードゲームの中でも最も定番で人気の高いゲームの一つです。

■ 基本的なルール、遊び方

カジノで行われるブラックジャックは、プレイヤーはプレイヤー同士ではなく、**ディーラー（親、胴元、ハウス）**との間で1対1の勝負を行います。

プレイヤーが何人かいる場合は、ディーラーは複数のプレイヤーと同時に勝負を行います。

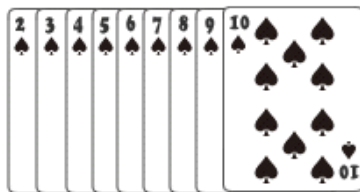
各プレイヤーの目標は、21を超えないように手持ちのカードのポイント合計を21に近づけ、その数字がディーラーより21に近づくことです。

手の中のカードのポイントは、カード2～10ではその数字通りの値であり、また、絵札である、K（キング）、Q（クイーン）、J（ジャック）は10と数えます。

カードの数え方



1 または 11



2～10
各数字と同じ数え方



絵札は10として数えます



例

この場合、7と9で合計16となる

A（エース）は、手持ちのカードの合計が21を超えない範囲で11と数え、超える場合は1として数えます。

なお、Aを11と数えても21を超えない手持ちカードの組み合わせのことを、「**ソフトハンド**」と呼び、Aを1として数える、またはAを含まない状態を「**ハードハンド**」と呼びます。

ソフトハンド



$$8 + A \begin{cases} \text{Aを1とする} & 9 \\ \text{Aを11とする} & 19 \end{cases}$$

このようにAを1でも11でも好きな数に出来る状態をソフトハンドと言います。

ハードハンド



$$8 + 9 = 17$$

Aを1としか数えることが出来ない状態、またはAを含まない状態をハードハンドと言います。

各プレイヤーが初めの賭けを終えると、ディーラーはカードを自分自身も含めた参加者全員に2枚ずつ配り、ディーラーの2枚のカードのうちの1枚は表向きにされ、全員見ることができます。

もう1枚のカードは伏せられているプレイヤーのカードはカジノによってフェイスアップ（表向き）の場合とフェイスダウン（裏向き）の場合もありますが、

現在主流になっている6デッキ以上を利用するルールにおいてはフェイスアップで配られることが通例（常識）となっています。

この時点で、プレイヤーが21（1枚は10、J、Q、Kのうちのどれかで、もう1枚はAという組み合わせの場合のみ可能）であれば「ブラックジャック」又は「ナチュラル21」と呼ばれ、ディーラーが21でなかった場合には、掛け金の2.5倍の払い出しを受けることができます。

プレイヤーもディーラーもブラックジャックの場合には引き分け（プッシュ、スタンドオフ）となります。

プレイヤーが21ではなくディーラーがブラックジャックの場合にはこの時点で自動的にプレイヤーの負けとなります。

■ブラックジャックの基本用語

• ベット (BET)

チップを賭けることをいい、
以下のように、テーブルにチップをおきます。



• ディーラー (DEAL)

ディーラーがカードを配ることをいい、ベットしてから上記の
「ディーラー」の画像をクリックするとカードが配られます。

• ヒット (HIT)

さらにカードをもらうことをいい、下記のように「ヒット」の
画像をクリックするとカードがもう1枚配られます。



• スタンド (STAND)

それ以上カードを引かないことをいい、
以下のように、自分の手札の合計が「20」などの場合は、
これ以上をカードを引く必要がないので、「スタンド」を選択します。



• スプリット (SPRIT)

同じ数のカードが2枚配られた場合、2つの独立した手に分け、それぞれの手に賭けることができます。これを行うには最初の賭け金と同額の賭け金を追加しなければなりません。

以下の場合、最初に配られたカードが、「3」と「3」。ベットした金額は5ドルでした。

この場合、5ドルを追加することで、以下のように最初の組み合わせを分裂させ、ハンドを1つ増やしてゲームを行うことができます。



・ダブルダウン (DOUBLE DOWN)

次のカードを引いて勝てると確信した場合に、カードをあと1枚しか引かないことを宣言して賭け金を倍(通常2倍)にして、カードを引くことをいいます。

例えば以下の左の「4」と「7」のカードの組み合わせをみて下さい。他のカードにどれくらい絵札(10)が出ているか?などを見てからの判断となりますが、最初に配られたカードの合計が「11」であれば、次にどんなカードを引いてもバースト(22以上)になることはありません。また、絵札や10が出る確率も高いので、このようなケースにおいて「ダブル」を宣言し、倍の賭け金を払って、2倍の利益を取りに行くことができます。



・インシュアランス (INSURANCE)

ディーラーの表向きに配られたカードがエースのとき、最初に賭けたチップの半額を追加することにより、インシュアランス(保険)をかけることができます。ディーラーが「ブラックジャック」だと思ふときには、インシュアランスをかけます。



インシュランスをかけていれば、ディーラーが「ブラックジャック」であった場合、保険金が2対1で支払われます。ディーラーが「ブラックジャック」でないときは、保険金のみ没収されます。

ディーラーにエースが出るたびに賭けるかどうか聞かれます。

• ブラックジャック (BLACK JACK)

ゲームの名称でもある「ブラックジャック」は、厳密に言うと、最初の2枚のカードで21点を獲得した場合を指します。(別名「ナチュラル21」)



• バースト (BURST)

数字が21を超えるカードをいいます。この場合は、ディーラー側のカードがいかなる場合でもこちらの「負け」となります。



・プッシュ (PUSH)

プレイヤーとディーラーのハンドが引き分けの場合を指します。



ブラックジャックで必要な用語、ルールは基本的にこれだけです。

いかに、21に以下にカードを近づけることが出来るのか？

という基本的なルールのもと、それに付随するルールがあるだけです。

そして、このようにシンプルなルールだからこそ、
基本的な「攻略法」なるものも存在します。

■ブラックジャック攻略法

基本的な戦術として、「ベーシックストラテジー」を使ってブラックジャックをプレイしましょう。

「ベーシックストラテジーとは」

ベーシックストラテジーとは自分の手持ちのカードと、ディーラーのカードの組み合わせを分析して、勝てる条件を説明したもので、簡単に言えば**カンニングペーパー**みたいなものになります。

ブラックジャックは21に近い方が勝ちます。ディーラーは最初にプレイヤーに二枚のカードを配り、ディーラーには一枚のカードが配られ、それはプレイヤーにもオープンされます。

ベーシックストラテジーでは基本的に見えてないカードは10であると考えます。

ブラックジャックのルールでプレイヤーはHit（もう一枚ひく）かStand（もうひかない）は裁量にまかされていますが、ディーラーは17以上だと絶対にStandだし、16以下は必ずHitです。

そこで、最初に配られた二枚のカードとディーラーのオープンされたカードを比較して、**Hit**か**Stand**かを決めるのです。

例えばディーラーのオープンされているカードが6だとすると、ディーラーは21以上になって、バーストする確率が高いのでプレイヤーは12でもStandします反対にディーラーのカードが1とか10とかのいいカードだと、20とか21のいい数字になる確率が高いのでプレイヤーは16でもHitします。

このように、ブラックジャックには勝つ可能性が高いプレイ方法というのが存在するので**ベーシックストラテジー**を参考にしましょう。

【ベーシックストラテジーのチャート表】

プレイヤーの持ちカードによって確認する図が変わってきます。

■ハードハンドの場合

ハードハンドとはエースを含まないかエースを1と数える場合をいいます。

あなたのカード	ディーラーのカード									
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	A
8以下	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H
9	H	D	D	D	D	H	H	H	H	H
10	D	D	D	D	D	D	D	D	H	H
11	D	D	D	D	D	D	D	D	D	H
12	H	H	S	S	S	H	H	H	H	H
13	S	S	S	S	S	H	H	H	H	H
14	S	S	S	S	S	H	H	H	H	H
15	S	S	S	S	S	H	H	H	H	H
16	S	S	S	S	S	H	H	H	H	H
17以上	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S

S スタンド	これ以上引かない
H ヒット	もう一枚引く
D ダブルダウン	チップを追加して引く

■ソフトハンドの場合

ソフトハンドとは、エースを11として数える手をいいます。

あなたのカード	ディーラーのカード									
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	A
A,2	H	H	H	D	D	H	H	H	H	H
A,3	H	H	H	D	D	H	H	H	H	H
A,4	H	H	S	S	S	H	H	H	H	H
A,5	H	H	S	S	S	H	H	H	H	H
A,6	H	S	S	S	S	H	H	H	H	H
A,7	S	D	D	D	D	S	S	H	H	H
A,8	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
A,9	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S

S スタンド	これ以上引かない
H ヒット	もう一枚引く
D ダブルダウン	チップを追加して引く

■ 手持ちカードがペアの場合

あなたのカードがペアの場合は、スプリット（チップを追加して2つの手に分ける）をするケースが多くなります。

あなたのカード	ディーラーのカード									
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	A
A,A	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P
10,10	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
9,9	P	P	P	P	P	S	P	P	S	S
8,8	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P
7,7	P	P	P	P	P	P	H	H	H	H
6,6	P	P	P	P	P	H	H	H	H	H
5,5	D	D	D	D	P	D	D	D	H	H
4,4	H	H	H	P	P	H	H	H	H	H
3,3	P	P	P	P	P	P	H	H	H	H
2,2	P	P	P	P	P	P	H	H	H	H

S スタンド	これ以上引かない
H ヒット	もう一枚引く
D ダブルダウン	チップを追加して引く
P スプリット	最初に配られたカードをそれぞれ別々の手とし、2つのゲームとしてプレイする

この表は印刷しておいて、まずは、**見ながらプレイ**してみてください。

あとは実際にプレイすることで、自然とどのカードの時に攻めるべきか？
どのカードの時は降りるべきか？ がわかってくるようになります。

このストラテジー表を踏まえたブラックジャックの戦術法もご紹介したいと思います。

【戦術】

1. 「ブラックジャックは勝てるゲーム」

ブラックジャックは、他のカジノゲームのように自動的にハウスエッジ（税金などで、ある一定の条件を満たすことで本来の勘定に入れなくてよい値）が天引きされることはありません。通常勝ちの配当は1対1だし、ブラックジャックが出て勝てば2対3。

ディーラーのブラックジャック勝ちが1対1で取られるのに比べれば、これは有利です！

では、ディーラーに有利なルールは何か。ブラックジャックというゲームにおいては、プレイヤー側にのみさまざまな特権が与えられています。その特権を列挙すると、

- (1) ヒットするかスタンドするかの判断は自分で好きなように決められる
- (2) ブラックジャックが完成した際の払戻金は5割増し
- (3) ダブルダウンの権利
- (4) スプリットの権利
- (5) サレンダーの権利

などです。

さらに厳密にいうならば、

- (6) 賭金の額を自分で決められる

というのもプレイヤー側にだけ与えられた重要な特権と言えます（なぜなら、**カジノ側はどんな賭金でも受けて立たなければなりません**）。

また、

- (7) ゲームをやめるタイミングの自由

これもプレイヤーにだけ与えられた立派な特権です。

つまりは**勝ち逃げすることが出来る**ということです
例えば、「10ゲームやらないとやめられない」というルールはありません。
自分のタイミングで、勝っているところでやめることが出来ます。

このようにブラックジャックのルールというものは何から何までプレイヤー側にとっていいことづくめにできています。

しかしたったひとつだけプレイヤー側に不利なルールが存在しています。

それは**プレイヤーがバーストすると完全な負けになってしまう**ことです。
ともにバーストしても引き分けではありません。
これはゲームをする上で非常に重要なことです。

2. 「ディーラーをバーストさせよう」

ブラックジャックの勝ちパターンは競り勝つことだけではありません。
もうひとつのパターン、バーストしたら負けの逆、ディーラーをバーストさせれば勝ち、というほうが実は**重要**なのです。

例えば、ディーラーのアップカードが6、自分のカードが最低点の12、引いた数が10。気楽に3枚目を引いて、バーストしてしまう可能性もありますが、もしそれを引かずにスタンドしていれば、

ディーラーがバーストしていたのに・・・というケースにこれからなんととなくぶつかるに違いありません。

ディーラーは16以下の数字の場合は、必ずもう一枚引かなければならない。ホールカードが10、引いた1枚が6以上でバーストなんてケースは確率的に高い確率で起こり得ます。この場合の定石は、当然なスタンドなのです。

ディーラーのルールでは計算上約**30%弱の確率でバースト**する計算です。
つまり、3、4回に一回**ディーラーのバースト**が期待できます。

3. 「16 以下の場合はディーラーのアップカードによる」

カードの合計が 11 以下のときは、次に何を引いてもバーストしないので考える事はないが 12 から 16 の場合はどうするか？

すでに説明してきた通り、ただ単に機械的にプレイしているディーラーの手には、「17」、「18」、「19」、「20」、「21」 または 「22 以上」 のいずれかしもあり得ないこととなります。

このことから、**プレイヤーにとっては「12」も「16」も同じ強さの手である** ということに気付かなければなりません。

なぜなら、ディーラーの最終的な手に 「14」 とか 「15」 とかいう手が存在しない限り、プレイヤーは 「12」 でも 「16」 でも、ディーラーがバースト（22 以上） してくれない限り絶対に勝てないからです。

4. マルチハンドでプレイして勝率を高める

マルチハンドとは、同時に複数のハンドを作れる状態です。

以下のような形を「シングルハンド」といい、シングルハンドの場合、プレイヤーが作れる手は1つだけで、その手を使ってディーラーのカードと勝負を行います。



それに対し、以下のように、同時に複数の手を作れる状態にあることを「マルチハンド」といいます。



上記では、5つのハンドを作り、各カードの組み合わせでディーラーのカードと勝負を行います。

今回は5ハンドの例を紹介しておりますが、2ハンドでも3ハンドでも行うことができますし、もちろん、シングルハンドでプレイを行うことも可能です。

ブラックジャックはオンラインカジノのゲームの中でも最もペイアウト率（還元率）が高いゲームの内の1つですが、ジャックポットなどのように一度の勝ちで“億”を稼げるようなことはありませんが、このように複数ハンドでプレイすることで、勝った時に獲得出来る金額の幅を拡げることが出来るし、

■実際にブラックジャックで遊んでみよう



「ワイルドジャングルカジノ」では、[無料でブラックジャック](#)が楽しめます。

[ワイルドジャングルカジノの登録はこちらから](#)

ワイルドジャングルカジノは、日本語に対応したオンラインカジノで、[日本人スタッフによる、24時間365日のサポート](#)もついています。

この日本語サポートチーム「Zsupport」はカスタマーサポート賞を受賞している、オンラインカジノのサポートのスペシャリストです。

上記のページからソフトウェアをダウンロードすると、ワイルドジャングルカジノへの登録マニュアルやボーナスの入出金マニュアルなどの、ゲームを開始するために必要な各マニュアルもダウンロード出来ます。

オンラインカジノが初めての方や、ブラックジャックを初めて行う方へ[オススメ](#)です。

ブラックジャックでも色々な種類のブラックジャックがあり、種類によっては、ルールなども変わっていき、沢山のブラックジャックが楽しめます。

まずは、ワイルドジャングルカジノをダウンロードし、マニュアルを読みながら、新規登録までを行ってください。

登録までを終えたら、ワイルドジャングルカジノで実際に行なっているブラックジャックのプレイシーンをお見せしながら、ワイルドジャングルカジノのブラックジャックについて簡単に説明します。

図解で分かりやすく説明させていただきますので、一度以下の流れに沿ってゲームを始めてみてください。

ワイルドジャングルカジノから、ログインをして、「カードゲーム&テーブルゲーム」をクリックし、「ブラックジャック」をクリックしてください。（有料版、無料版のどちらでも行えます。）



① プレイ方法が選択できます。
今回は「3-ハンド」でプレイしてみます。

※先ほど「マルチハンド」について説明させて頂きましたが、「3ハンド」「5ハンド」ではそれぞれのハンド数でプレイすることができ、シングルプレイヤーでは、1ハンドでのプレイになります。(無料版ではシングルプレイのみとなります。)



② 次に「テーブルの限度額を選択してください：」の表示が出てきます。

「\$1,, \$300」と「\$0.1,, \$300」というプルダウンが出てきます。
これは最低ベット金額と最高ベット金額になり、

「\$1,, \$300」 : 最低1ドル～最高300ドルまで
「\$0.1,, \$300」 : 最低0.1ドル～最高300ドルまで

となります。

今回は、「\$1,, \$300」を選択してプレイしてみます。



③ 3-ハンドでのプレイになりますので、以下の3箇所に賭けたい金額を賭けることができます。

※賭け金は、最低：\$1～最高\$300 まで

賭け金を置いて「ディーラー」のボタンをクリックすると、矢印（←）の方向から賭け金を置いた3箇所にカードが配られます。



- ④ カードが配られた後の一連の流れとして、以下の画面の番号通りにカード配られ、アクションを起こすことができます。

右から順に「ヒット」「スタンド」「ダブル」とが選択できます。



⑤ 以下の画像をご覧ください。



先程の場面から、全て「ヒット」選択して、①・②は、カードを1枚だけ引き、1番大きい数字の21となったので、自動的に「スタンド」となります。

③は、1枚だけ引いて、21より大きい数字となったので、「バースト」です。ディーラーは、相手のアクションが全て終わった後にカードをめくります。

※ディーラーは必ず16以下の場合、カードを引き、17以上はスタンドに自動的になります。

ディーラーは、めくり数字が数字が17以上なので、カードは引けず合計の数字は18となります。この時点でバーストした③以外のカードは勝ちとなり、\$14を獲得することが出来ました。

⑥ 次のゲームに移って説明します。以下の画像をご覧ください。



一番右のプレイヤーは、配られたカードのが「A」と「10（絵札）」なので、「ブラックジャック」となります。この場合は、カードを引くことなく、次のプレイヤーの番へと移ります。

ディーラーのカードをめくって、ブラックジャックでない場合は、自動的にこちらの勝ちとなり、ディーラーもブラックジャックの場合は、「プッシュ」（引き分け）となります。

- ⑦ 以下の画像をご覧ください。ディーラーの1枚目のカードが「A」のケースです。



これはディーラーが次のカードめくった場合にブラックジャックの可能性が高いため、「インシュアランス」の表示が出てきて、インシュアランスをかけることができます。

インシュアランスは「保険」という意味です。

インシュアランスを選択すると、ベットしている金額の半額（上記の場合1ドルをベットしているのので、半額の0.5ドル）を出すことで、ディーラーがブラックジャックだった場合、初めに賭けた金額は、取られることがなく、インシュアランスで出した半額の0.5ドルが身代わりとして持っていけます。

⑧ 次のパターンを説明します。以下の画像をご覧ください。



左手にある③のカードが「5」と「5」で同じ数字となっています。
同じ数字が重なった場合は、「スプリット」をかけることができ、カードを2つ
にわけ、カードがそのわけた2枚に配られ、賭け金も③で賭けた分\$1が追加さ
れます。

このスプリットした③で勝つことができれば、勝金も追加した金額分勝ちとい
うことになります。

先ほど、「用語」でも詳しく説明しながら、
このようにゲームに沿って、確認していくとわかりやすいです。

ブラックジャックは、このように非常にシンプルなゲームで、
オンラインカジノのゲームの中でも最も勝ちやすいゲームの内の1つです。

1回で“億”を稼ぐことは難しいですが、ブラックジャックを攻略することで、
地味ではありますが、儲かることができます。

先ほど紹介したストラテジー表を印刷して、
ブラックジャックをやってみてください。

まずは無料ゲームをやって、ルールや感覚を理解してから、
有料版で実際に楽しんでみるといいと思います。

[ワイルドジャングルカジノの登録はこちらから](#)

それでは、是非、ブラックジャックを楽しんでください！！